

石の枕

<父の日に、父を想う>

私の父の証詞的自伝に「椎の木に桜が」という本がある。時々見るがなつかしい。なんと12人兄弟の5番目として、静岡県伊東市に生まれました。

私の祖父のことが書いてある。「お父さん、あなたは牧師を育てた親です。あなたがまじめに生きてきたことは、子どもながらに知っています。私はお父さんがイエス様を信じ、天国に行く人になってほしいのです」

と言って、聖書のお話しをしました。すると父は、「博道、お父さんはイエス様を信じるよ」と言ってくれたのです。

父は教会に行ったことはありません。しかし、私が学校を卒業し、就職してから少ない給料の中から、クリスマスになるとプレゼントを贈っておりました。

クリスチャンになった私は、教会に「十分の一献金」を捧げ、自分の小遣いと家賃などの生活に必要な経費を払い、その中から少しずつクリスマスプレゼントを贈るために貯金していたのでした。

働き者の父の手はいつもあかぎれができていました。そんな手を子どものころから見ていましたので、クリスマスにはコールドタールのように黒い色した膏薬や、たんきりあめやいろいろなお菓子等を小包にして贈っておりました。

父は、「クリスマスになると博道から小包が来る」といって楽しみにしていたそうです。ある日、親戚が集まったときに、「博道は給料も安く、金持でもないのにクリスマスにはプレゼントを送ってきてくれる。他の宗教は自分の利益ばかりを考えているように見えるが、どうも博道の信じているキリスト教は、他の宗教とは違うようだ」と言って感心していたそうです。

危篤の時に、「博道の信じている神様を信じれば天国に行ける」と父は思ってくれたのでしょうか。その日、私は父の枕元で洗礼式を行いました。

それから一週間後、父は主のもとへ召されたのでした。母も同じように、イエス様を信じて天国へ召されました。私は父と母の実直な生き方を心から尊敬し感謝をしております。そして、そんな両親にイエス様を紹介できたことは、最高の親孝行ができたと思っています。(上記の博道とは、私の父のこと。88才で天に召される直前までリバイバルを願っていました。忠実な、誠実な牧師でした。)

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:使徒行伝2章~6章 Bコース:ネヘミヤ4章~エステル10章

司会	梅津兄	塩野兄	岡野保兄
奏楽			
祈禱	倉知兄	多田兄	右沢兄
賛美	聖歌430番	(海と空つくれた主は) (こころ静かに)	
使徒信条			
聖書	創世記15章1~6節 マタイによる福音書8章23~27節		
音楽	北島美佐子姉 Eternity		
メッセージ	「見上げてごらん」 梶山直樹副牧師 「主よ、死にそうです」 大川従道牧師		
賛美 主の祈り 祝禱	「明日はどんな日か」(献金)		

「驚いてはならない、わたしはあなたと共にいる。」「
イザヤ書四十一の十」

【大和ニュース】

- ・ 今日「父の日」。お父さん、ありがとう。ご苦労さま!!
- ・ 本日の礼拝献金はギデオン国際聖書協会の為用いられます。
- ・ 本日、入門、ハンナ会、囲碁、SS教師会、役員会(2時)あり。
- ・ 「J.P.L.U.S」(青年礼拝)は、昼2時から。説教は倉知副牧師。
- ・ 今週の祈禱会の説教は、リバイバルミッションの滝元師です。独唱は中村姉(ハワイ)。
- ・ 福音礼拝は、火曜昼2時~3時。説教は、倉知副牧師。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時~10時半。説教は小林伝道師。祈り込みましょう!
- ・ 英語礼拝は、土曜夜7時~8時。説教はオカムラ宣教師。(日本語翻訳あり)
- * 今年も半年守られたことを感謝し「上半期感謝献金」を捧げましょう。伝道牧会スタッフ及び神学生と支教会の伝道者と家族の為に用いられます。